

界面活性剤型液体増粘剤 ビスコトップ® 300シリーズ

KaO

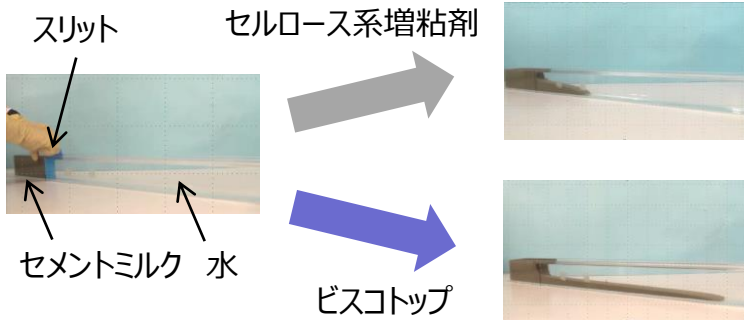
コンクリート杭根固め、杭周固定液用途

水質保全、施工トラブルの軽減が実現出来ます

砂礫地盤でのスムーズな杭施工が可能になります

水質保全への貢献

増粘しても流れます



水質を保全します

セメントミルク

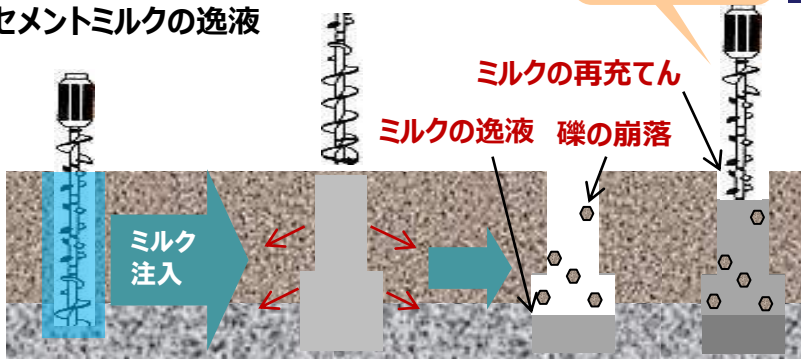
セメントミルク
+ビスコトップ®



施工トラブル軽減への貢献

トラブル事例 / 砂礫地盤
セメントミルクの逸液

- ・工期長期化
- ・材料ロス
- ・施工性悪化



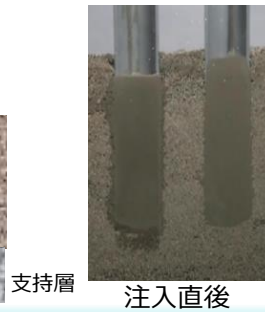
セメントミルクの逸液を防ぎ、 工期短縮、材料ロス削減に貢献します

無添加

ビスコトップ®

無添加

ビスコトップ®



施工トラブル軽減への貢献

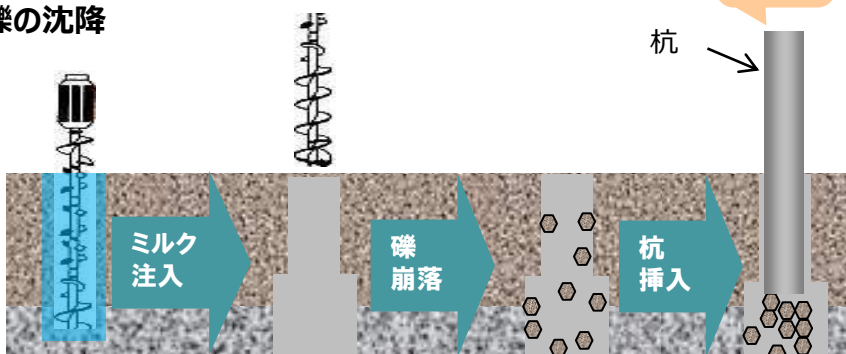
トラブル事例 / 砂礫地盤
礫の沈降

杭
高止まり

礫の沈降を抑制し、 杭の高止まりを防ぎます

無添加

ビスコトップ添加



配合例

	W/C (%)	単位量 (kg/m ³)		増粘剤		消泡剤		圧縮強度 (N/mm ²)
		W	NC	種類	使用量 (W × %)	種類	使用量 (ビスコトップ × %)	
1	60	654	1090	ビスコトップ 300NP	2.5% (16.4kg/m ³)	アンチフォーム E-20	2.0% (0.33kg/m ³)	32.9
2	100	759	759	ビスコトップ 300N	2.5% (19.0kg/m ³)	アンチフォーム E-20	2.0% (0.38kg/m ³)	9.9

*) ビスコトップ、消泡剤は水に内割りとします

*) 圧縮強度 28日気中養生/フリージング袋

推奨製品、添加量

セメントミルク温度	W/C=60%以下	W/C=60%以上	推奨添加量
30℃以下	ビスコトップ 300NP	ビスコトップ 300N	2~2.5%(対水)
30℃以上	ビスコトップ 300N	ビスコトップ 300N	2.8~3.5%(対水)

セメントミルクの調整方法

水投入 → セメント投入 → 攪拌 (30秒以上) → 消泡剤投入
 → ビスコトップ投入 → 攪拌 (30秒以上) → アジテーターへ排出

注1：消泡剤は、ビスコトップを投入前にセメントミルクへ投入してください。

ビスコトップを投入後に、消泡剤を添加すると多量の泡を巻き込み、ミルクの品質低下の原因となります。

注2：ビスコトップは、セメントミルクを調整後に投入してください。

水仕込み時にビスコトップを投入するとミルクの混合不良が生じる恐れがあります。

性能評価結果

水中不分離性

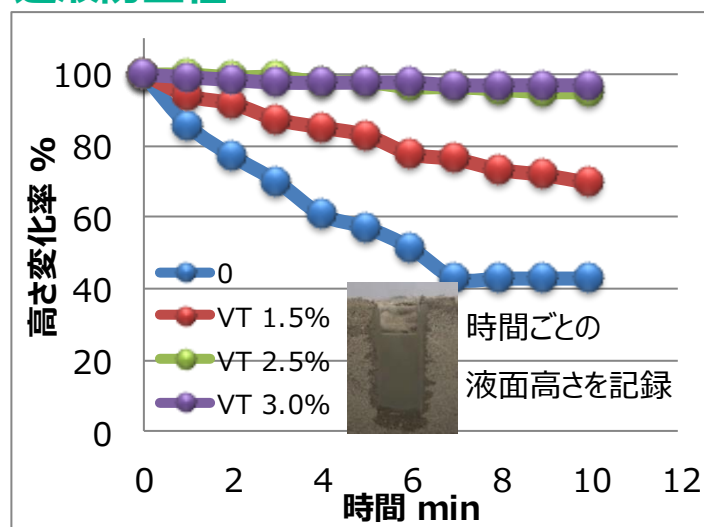
W/C=60% ビスコトップ 300NP

No.	ビスコトップ 添加率 (W×%)	粘度 (mPa・s)	水中 不分離性 (目視)
1	—	1,450	×
2	2.2	2,400	○
3	2.5	2,200	◎

水中不分離性：

水中へセメントミルクを投下後、目視で性状を確認

逸液防止性



ここに記載された事項は、最新の注意を払って行われた実験事実に基づくものですが、実際の現場結果を確実に保証するものではありません。お問い合わせは下記までお願いいたします。

花王株式会社 ケミカル事業部門 エコインフラ

すみだ事業場 〒131-8501 東京都墨田区文花2-1-3

大阪事業場 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-1

HP : <https://chemical.kao.com/jp/>

Mail : chemical_eif@kao.com